

With

東北大学病院
地域医療連携センター通信

創刊号
2006.7

CONTENTS

- 1 病院長挨拶
センター長挨拶
- 2 「東北大学病院地域医療連携協議会」を設立しました
初診予約受付を行っています！ご利用ください！
東北大学病院でも「ドナルド・マクドナルド・ハウスせんせい」
が利用できます！
- 3 セカンドオピニオンのご案内
高度救命救急センターがいよいよ今秋オープンします！
- 4 地域医療連携センターのご紹介
タリーズコーヒー東北大病院店がオープンしました
編集後記



東北大学病院

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号
TEL 022(717) 7000(代)

地域医療連携センター

TEL 022(717) 7131(直通)
FAX 022(717) 7132



● 病院長挨拶

東北大学病院地域医療連携センターは、本院と地域の医療機関との連携を密にすることを目的として平成16年6月に設置されました。本年2月には東北6県の約200もの病院が加わった地域医療連携協議会が結成されるなど、約二年間の活動を通してその所掌する範囲も拡大しております。また、専任の職員数も徐々に増え、患者さまの入退院の支援は無論のこと、病気について起こる様々な不安や問題に対する相談窓口としての機能も充実してきました。地域医療機関と本院との絆を強くする部署として今後の発展が期待されます。

このたび、地域医療連携センター通信を発行する運びとなりました。このミニ情報誌を介して本院と地域医療機関との連携が一層深まり、結果として本院の理念である「患者さまに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」が実践されるとともに、地域医療全体の発展に貢献できればと願っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



● センター長挨拶

現在の医学・医療は益々専門性を深めていますが、一人の患者さんに最高の治療を行うには院内・外ともに医療者同士の連携が必然的に求められます。今後は医療者のパラダイムシフトをして「最高のチーム医療」と「最高のコラボレーション」がこれからのキーワードとして重要です。

東北大学病院地域医療連携センターは3年目を迎えるようやくマンパワーも整い本格的な活動が開始され、この度、院外に向けて地域医療連携強化の一環として機関誌「With」を定期刊行することになりました。

大学病院は診療・研究・教育のミッションを抱えて地域医療連携を創造する役割があることを自覚し、今後は病院全体として様々な視点から本気で推進しますので宜しくお願いいたします。



「東北大学病院地域医療連携協議会」を設立しました

東北大学病院では、「医療機関との連携を密にすることにより、医療機関の機能分化を促進し、あわせて医療の質の向上に寄与する」ことを目的として「地域医療連携協議会」を設立しました。

宮城県内を中心に、東北各県や関東の病院約200ヶ所が設立趣旨に賛同し、去る2月24日に設立総会が盛大に行われました。



総会では、里見進病院長から開会の挨拶があり、引き続き施設紹介、地域医療連携センターの紹介等がなされました。

その後「地域医療連携協議会」についての趣旨説明、会則の制定についての説明があり、会則について承認されました。

今後、年1回の会合を開き、情報の共有や意見交換を進める予定です。



INFORMATION

初診予約受付を行っています！ご利用ください！

地域医療連携センターでは、患者さまへのサービスの一環として、紹介患者さまの初診予約受付を行っております。

受診希望日の前日午後2時までに専用のFAX用紙をお送りいただければ、事前にカルテを作成しておきますので、受付での待ち時間がほとんどなく、また、時間の予約を取りしますので、診療科での待ち時間が短縮され、患者さまにとても好評です。

予約受付をした患者さまにはアンケートにご協力をいただいておりますので一部ご紹介します。

「受付から受診までスムーズでよかったです」

「待ち時間だけで1時間はかかると覚悟していたので安心しました」

「大学病院の初診はすごく時間がかかるというイメージがありましたが、スムーズに診察をうけることができ良かったです」

「カルテ等がきちんと準備されていてびっくりしました」

医療機関から直接お申し込みがあった場合のみの受付となるため、ご紹介いただく先生方には多少お手数をおかけしますが、このように患者さんに大変よろこばれておりますので、是非ご利用ください。



INFORMATION

東北大学病院でも「ドナルド・マクドナルド・ハウスせんせい」が利用できます！

宮城県立こども病院に併設されている「ドナルド・マクドナルド・ハウスせんせい」は、こども病院に入院または通院している**18歳以下の患者さまとそのご家族**が利用できる宿泊施設ですが、当院に入院または通院している18歳以下の患者さまとそのご家族も、ハウスに空きがあれば利用することができるようになりました。

宿泊期間は最長4週間（28日間）までですが、いつたんチェックアウトすれば最高3回の再利用が可能です。利用料金は1人1泊1,000円、患者さまご本人は「無料」

です。お食事の提供はありませんが、共有キッチンを自由に利用する事ができます。自宅が遠い患者さまの付き添い家族のご利用、外泊許可が下りれば治療の合間に家族と宿泊するというようなご利用の他、遠方からの外来患者さまには「診療予約」のお申し込みと合わせて「ドナルド・マクドナルド・ハウスせんせい」のお申し込みをされてみてはいかがでしょうか。

●お問い合わせ・お申し込みは地域医療連携センターまで。

INFORMATION

セカンドオピニオンのご案内

当院では、セカンドオピニオン外来を開設しております。セカンドオピニオン外来は自由診療で行われ、一人につき1時間を見込んでおります。相談を担当する医師は、専門性を考慮して当院で決定し、45分間にわたって原則として1人の医師がご相談をお受けした後、15分間で主治医への報告書を作成致します。紹介状を書いて頂いた主治医への報告書の作成費を含め、費用は31,500円（税込）です。

受診は完全予約制となっており、当院のセカンドオピニオン担当者にご連絡頂き、予約日時を決定してから受診して頂くという流れになります。ご本人の受診が原則ですが、同意書をお持ち頂ければご家族でも受診が可能ですので、ご希望の患者さまがいらっしゃる場合にはご紹介ください。



●►詳細につきましては下記までお問い合わせください●

医事課 セカンドオピニオン外来 受付担当

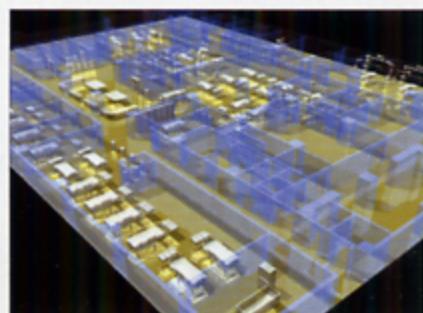
TEL : 022-717-7076 (直通) FAX : 022-717-7093

Mail : ijik-thk@umin.ac.jp

TOPICS

高度救命救急センターがいよいよ今秋オープンします！

東北大学病院は平成18年10月に東病棟1階フロアに（高度）救命救急センターを開設いたします。宮城県の救急医療を鑑みた宮城県救急医療協議会の答申、および仙台市救急医療事情に応えるものです。業務としては①宮城県全域からの救急患者の受け入れ、②災害拠点病院としての機能の充実、③高度救命救急センターの主要業務である広範囲熱傷、救急薬物中毒、多発外傷、指趾切断等の重症患者の受け入れ、④救命救急士、救急隊員へのメディカルコントロール体制の確立、⑤救急科専門医の育成、があります。施設・設備としては入院20床（うちICU 4床）、重症初療室（2床）、軽症初療室（3床）、経過観察3床、手術室（兼内視鏡室）、外来X線撮影室、CT室等が整備され、屋上にはヘリポートが設置されます。医師も25名に増員し診療にあたる予定です。地域の病院、



医院の皆様には、重症の患者様をご紹介いただくとともに、状態の落ち着いた患者様の継続加療をお引き受けいただくことが、救命救急センターのベッドを確保し、運営していくためのキーポイントと考えております。宜しくご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

*医療安全取り組み宣言

1. 患者さま・家族及び医療チームの相互の意志の疎通を良好にし、患者さま本位の医療の質と安全を追求します。
2. 医療の質と安全の確保はすべての職員の責務である事を自覚し、失敗に学び改善につなぐ文化を育みます。
3. 医療の質と安全を保証するためのシステムの構築を組織をあげて行います。

平成14年11月29日に東北大学病院に対する信頼性の向上と医療安全の推進に全力を尽すことを宣言しました。

併せて病院の前庭にそれを記念した「救命救急と医療安全の碑」を平成16年4月に建立しました。

また、院内の医療安全については、医療安全推進室の専任のGR2名を中心に日々改善の推進を実施しています。

FROM OFFICE

地域医療連携センターのご紹介

地域医療連携センターが開設して3年目を迎えました。

1. 本院が大学病院として社会が求める使命に応えるために、地域医療機関と連携の強化を図る。
2. 適切な医療を提供するために地域医療機関との密接な連携を推進し、あわせて患者及び患者家族への退院支援・在宅医療支援の医療サービスを行う。

を目的とし、平成17年6月には外来4階に専用の部屋を構えて、MSW2名・PSW1名・看護師3名・事務3名がお互いに協力し合いながら、前方支援・後方支援・企画広報活動を行っています。

主な業務として、前方支援では、新患予約受付、返礼業務、診療案内・外来担当医表の作成等を行っており、18年2月には医療機関の機能分化を推進することを目的に「地域医療連携協議会」を開催しました。後方支援では、退院支援、在宅療養支援に加え、施設・転院相談、難病相談、医療費生活費に関する相談など、様々な相談をお受けしており、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、各行政機関など院内外の連携の輪も拡大しつつあります。企画広報活動としては、年2回の講演会・ワークショップ、院内外への通信紙の発行等を行ってお

ります。

今後、秋頃には外来4階から1階へとより患者さまがお立ち寄りやすい場所へと部屋を移し、ますます業務を拡大していく予定です。大学病院として適切で安全な医療を提供するため、また、患者様・ご家族が安心して療養できるようにするために、院内職員、他医療機関、地域との連携を強化していきたいと思います。



TOPICS

●タリーズコーヒー東北大病院店がオープンしました



4月11日、東北大病院にタリーズコーヒーがオープンしました。店内には会計待ちの順番を示す電光ボードも設置されており、患者さまやご家族、お見舞いの方々に好評です。

また、院内にデリバリーサービスもしてくれることから、職員からも、喜ばれています。



住所：
宮城県仙台市青葉区星陵町1-1
東北大病院内

Tel : 022-728-6080

営業時間：
平 日 7:00 ~ 20:00
土 7:00 ~ 20:00
日 祝 7:00 ~ 20:00



編集後記

このたび東北大病院と地域の医療機関とをつなぐ院外広報誌「With」を発行することになりました。

第2号は10月にオープンする「高度救命救急センター」のことをさらに詳しく特集する予定です。

職種を問わず医療機関のスタッフの方々に興味を持って読んでいただけるような充実した紙面を提供ていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。



● 編集・発行 東北大病院地域医療連携センター TEL : 022-717-7131 FAX : 022-717-7132
E-mail : ijik002-thk@umin.ac.jp

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携センターまでお願いいたします。